日本教育新聞　平成23年（2011年）9月26日（月曜日）

明治の文化を感じる愛媛・松山の旅

多彩な体験学習プログラム

愛媛県・松山市

道後温泉本館前で撮影した集合写真

日本のエーゲ海・瀬戸内を面で捉えた
広島・関西との組み合わせが好評

多くの学校が修学旅行で訪れる広島・関西とのアクセスがよく、新たな訪問先として、注目を集める松山市。道後温泉や松山城などの歴史や文化、瀬戸内海の豊かな自然を有している。夏目漱石の小説『坊っちゃん』、司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』など、近代文学の舞台となった松山で提供される体験メニューは、他地域との差別化を図り、教育的視点から地域の資源を磨き上げたものであり、多様なメニューから学校の教育課題や生徒のニーズに応じて選択できる。

近代俳句の父と称される正岡子規のまちならではの、吟行体験や句会ライブを地元大学生とともに行ったり、日本のエーゲ海・瀬戸内海に浮かぶ中島では、みかん栽培や漁業などの体験学習を通じ、島の人たちと交流できる。島の水質改善のため開発された、環境浄化微生物「えひめAI」を教材にした、環境学習プログラムも用意されている。また、しまなみ海道のサイクリングや観潮船での急流体験は、人気メニューのひとつ。夜は道後温泉における日本文化体験やぶらり散策など、そのすべてに地域の「人」と「文化」との交流を練り込み、料金も低廉で、それぞれの満足度が高い次元で均一化しているのも強み。

奈良県立奈良高校は今年、修学旅行で初めて松山を訪問。「修学旅行生のための、さまざまな企画があると聞いたことで訪問先に選んだ」という。市街を散策中に俳句をつくり特設のポストに投句し、最優秀句にみかんジュースが贈られるといった特別イベントも催された。地元の温かい歓迎に、生徒だけでなく教員も感激したという。モデルプランの詳細は同市公式サイトに掲載されている。

■問い合わせ＝松山市産業経済部　観光産業振興課　修学旅行担当　電話089・948・6557　http://www.oidenka-matsuyama.com/

人と地域にふれあえる
おいでんか 瀬戸内 俳都 松山
一生ものの“交流体験”を

①「明治」を体感！
◆「坂の上の雲」ゆかりの地でまち歩き
◆正岡子規生誕の地で「俳句吟行」
◆日本で唯一、日露戦争時の要塞跡が完全な形で残る「小島」へ上陸

②第一次産業・島生活体験
◆瀬戸内海に浮かぶ「中島」で、みかん農家や漁家での体験・交流を通し、島の生活や文化に触れる

③環境問題を考える
◆「とべ動物園」（砥部町）で学ぶ環境学習
◆地元の水質改善のため、開発された環境浄化微生物「えひめAI」を活用した実践型環境学習

④これぞ、「和文化・和の作法」
◆日本最古の湯「道後温泉本館」見学
◆旅館での和文化・和の作法体験
◆地元商店街組合による、道後の歴史・文学学習講座

ここが違う！松山教育旅行
・全体行程をイメージした提案
・交流を練り込んだ「交流体験」メニュー
・窓口のワンストップ化
・徹底したサポート体制

チャーター船により、短時間で移動が可能。
広島-松山、関西を結ぶゴールデンルート！

新しい教育旅行へ　一歩前宣言へ
松山市
産業経済部　観光産業振興課　修学教育旅行担当
〒790-8571　愛媛県松山市二番町四丁目7-2
TEL 089-948-6557　FAX 089-934-1764
E-mail kanko@city.matsuyama.ehime.jp
教育旅行専用ホームページ
★専用パンフレットのダウンロードが可能です！
おいでんか四国松山　検索